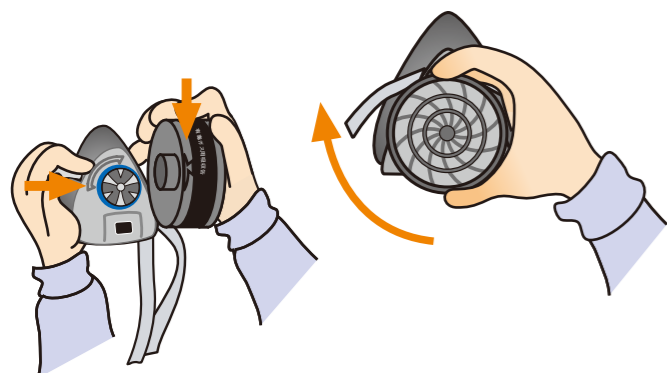


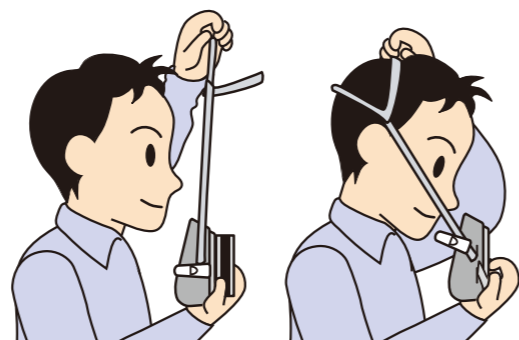
3M™ 防毒マスク 7000 シリーズ 装着方法

1 吸収缶を取付ける



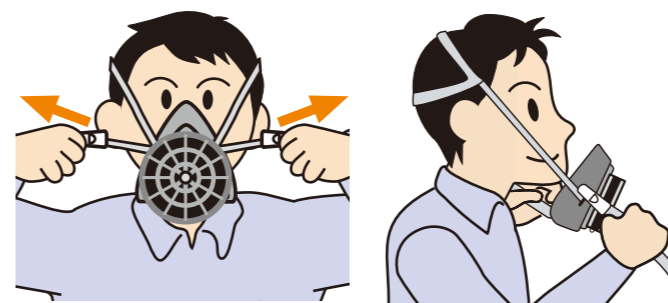
3M™ 吸収缶の矢印と面体の矢印の位置を合わせます。3M™ 吸収缶を面体に軽く押し付けるようにしながら時計方向に1/4回転させます。3M™ 吸収缶の矢印が面体「3M」マーク下部の矢印まできたら装着完了です。

2 ハーネスを頭にのせる



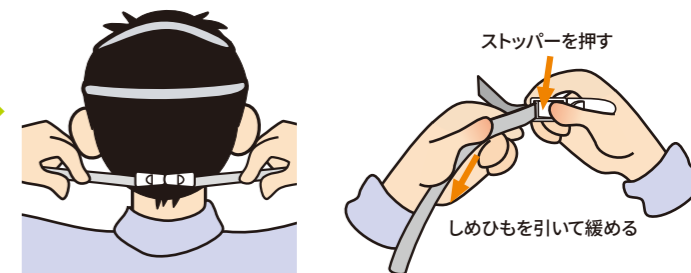
マスク本体を片手で持ち、ハーネスを頭頂部にのせるようにかけます。この時ひものよじれがないようにかけてください。

3 しめひもをひく



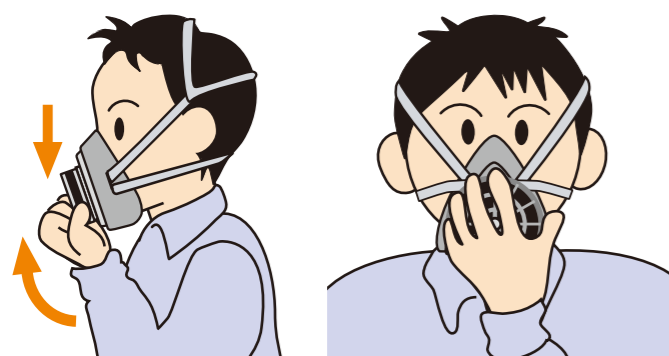
しめひもを左右に引いていくと、マスクが滑るように顔に近づいてきます。アゴと鼻が覆われるように注意しながらマスクを当てます。アゴを突き出し、マスクに乗せるように行ってください。

4 バックルを掛ける



首の後ろでバックルを掛け、バックル外側のしめひもを引っ張ることにより、長さを調整します。この時、しめ過ぎに注意してください。しめひもを緩める時は、バックルストッパー部分を押しながらしめひもを引っ張ります。

5 漏れ込みがないか確認



最後にマスクと顔の密着の良い場所に合わせるようにもう一度位置を調整してください。これで装着完了です。

Point 1 密着性の検査

フィットチェックツールの先端を指でつまみ息を軽く吸い込みます。面体が顔に吸いつくように感じられれば良いフィットが得られています。顔と面体の間から空気が漏れ込むようであればマスクの位置やしめひもの強さを調整しなおしてください。



ゴム製のフィットチェックツール(別提供)を3M™ 吸収缶全体を覆うようにして被せ、装着します。



S1ろ過材を使用している場合には、別タイプのゴム製フィットチェックツール(別提供)を使用します。リテイナーの中心にある穴に差し込むようにして装着します。(検査方法は同様です)



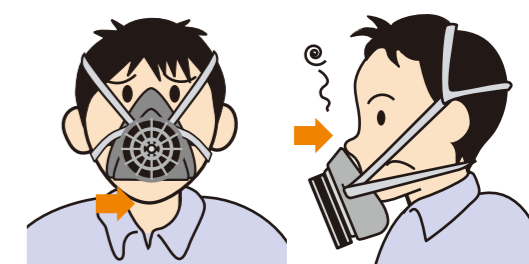
フィットチェックツールがない場合は、片手で3M™ 吸収缶の前面をふさぎ、密着性を検査おこないます。



Point 2 アゴと鼻に要注意

アゴがマスクから出ていると、鼻の位置もズレることになり、漏れ込みの原因になります。3M™ 防毒マスク7000シリーズの面体にはラージ、ミディアム、スモールの3サイズがあります。ご自分に合ったサイズを選んでください。

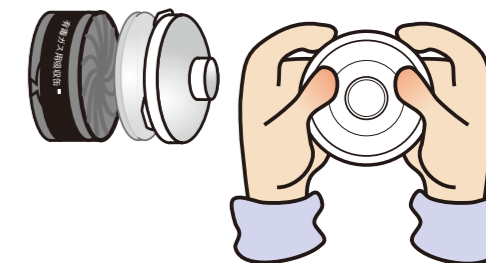
※サイズ選択の目安はカタログを参照または、マスクサイズチェッカーをご利用ください。



Point 3 ミストが存在する作業環境

ミストが存在する環境下では、3M™ 吸収缶に3M™ ろ過材 7711J を装着します。ろ過材の「顔側」と書いてある面が見えるように3M™ リテイナーに入れ、吸収缶にかぶせてください。両手で強く押し付けるだけで、3M™ リテイナーが吸収缶にはまり、装着完了です。

(ろ過材、リテイナーは別売です)



3Mは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
安全衛生製品事業部
<http://go.3M.com/psd>

Please Recycle. Printed in Japan. ©3M 2018. All Rights Reserved.

カスタマーコールセンター

0570-011-321

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます

OHS-336-D(1018)